

< 新規就農者の確保又は認定農業者の育成を目標としている事例 >

## うるおいと活気のある集落を目指して

### 1. 集落協定の概要

市町村・協定名	青森県弘前市 <small>ひろさきし</small> 大貝中山間地農地を守る会 <small>だいかいちゅうさんかんちのうち まも かい</small>				
協定面積 74.1ha	田 (94%)	畑 (6%)	草地	採草放牧地	
	水稲	りんご			
交付金額 573.6万円	個人配分			50 %	
	共同取組活動 (50%)	担当者活動経費			7 %
		鳥獣害防止対策及び水路・農道等の維持管理等経費			11 %
		体制整備に関する活動経費			17 %
		農用地維持管理活動経費			10 %
		その他(事務費等)			5 %
協定参加者	農業者 124人、弘前市立裾野中学校				

### 2. 取組に至る経緯

当協定は、大森地区と貝沢地区の農業者124名と弘前市立裾野中学校により形成されている。農業者の多くは米とりんごの複合経営農家であるが、配偶者不足等による後継者難が懸念されることから、担い手の育成などに取り組むこととした。

### 3. 取組の内容

りんごの生産向上に向け、毎年1月に若手のりんご栽培農家に対し「りんごせん定会」を開催し、せん定技術の継承に努めている。

また、認定農業者の育成にも力を入れており、現在15名の認定農業者を確保している。平成20年からは他地域から技術指導を受け、新たな特産品としてそばの栽培にも取り組んでいる。

このほか、沿道にベゴニアを植えたプランターを設置し、中学校通学路の法面に花文字を形成するといった、環境美化活動にも取り組んでおり、今後については、ごみ・産業廃棄物の不法投棄防止や交通安全を呼びかける立て看板を中学校と連携して設置し、多面的機能の増進を図るとしている。



りんごのせん定会の様子



中学校通学路法面の花文字

**[ 集落の将来像 ]**

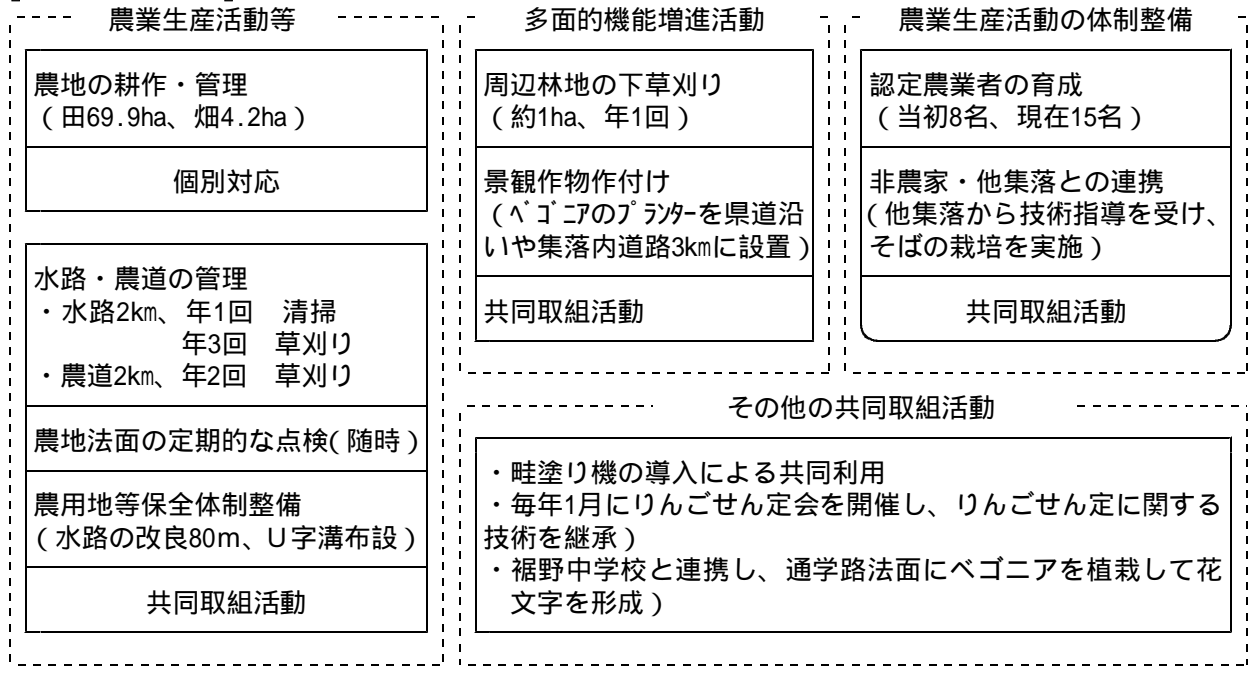
現在活躍している担い手を認定農業者として育成し、農地の保全等に努める。  
また、学校等と連携を図り、沿道へのプランター設置や法面への花文字作成などの活動を推進して潤いと活気のある集落となることを目指す。



**[ 将来像を実現するための活動目標 ]**

後継者の育成の推進  
他集落等と連携した生産性向上及び地域活性化に向けた取組の実施

**[ 活 動 内 容 ]**



**集落外との連携**

外ヶ浜町上小国集落から技術指導を受け、そばの栽培( 40 a )に取り組む( H20実施)

**4 . 取組による変化と今後の課題等**

りんごせん定会を定期的で開催していることが、栽培技術と生産意欲の向上に結びつくようになった。一方、平成20年度にそばを栽培したが、思ったより収穫量が上がらなかったことから、今後栽培技術の向上を図る必要がある。

**[ 平成20年度までの主な成果 ]**

認定農業者の育成( 当初 8 名、目標 9 名( H18達成 ) H20実績15名 )  
県道・集落内道路へ景観作物を植えたプランターの設置( 当初 0 km、目標 3 km、H20実績 3 km )  
弘前市立裾野中学校と連携し、通学路法面にベゴニアを植栽して花文字を形成。  
毎年 1 月に若手りんご栽培農家を対象に「りんごせん定会」を開催。( H20実績・40名参加 )  
集落内の水路改修による管理コストの削減( 水路決壊常習地( 2 か所 )にU字溝を布設)